所沢市立美原中学校

学校だより No５

令和３年度　第４号
７月　２０日　（火）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

自分のすべきチャンスをつかみ「手間返し」を実行する夏休み！！

いよいよ明日から夏休みに入りますが、皆さんは、今の世の中の流れを観てどのように考え行動するのでしょう。3年生は、延期された修学旅行が直前に迫り、7月28日から2泊3日の予定で進行しています。是非、事前からコロナ対策を万全に実施し、全員無事に帰ってこられることを心から祈っています。

さて話は、変わりますが、数年前の夏休みに入ってのある日のこと、卒業生が相談したいことがあるということで、急に学校に来校しました。その卒業生の同級生（私の教え子）の相談でした。その教え子の子どもが学校に登校したがらないことついて、悩んでいるので相談に乗ってほしいという内容でしたので、私は即、了解しました。私のようなものが他人様の力になることがあれば、させていただくのは、当然だからです。

私は、この年になるまで本当に多くの人にお世話になりました。今は、お会いしてお礼を言いたくても、なかなか会えない方や、今日、このご時世の中お会いして感謝を述べることは、なかなかかないません。今の自分があるのは、多くの方々のお世話になったお陰と考えると、このような相談を引き受けることは、当たり前です。

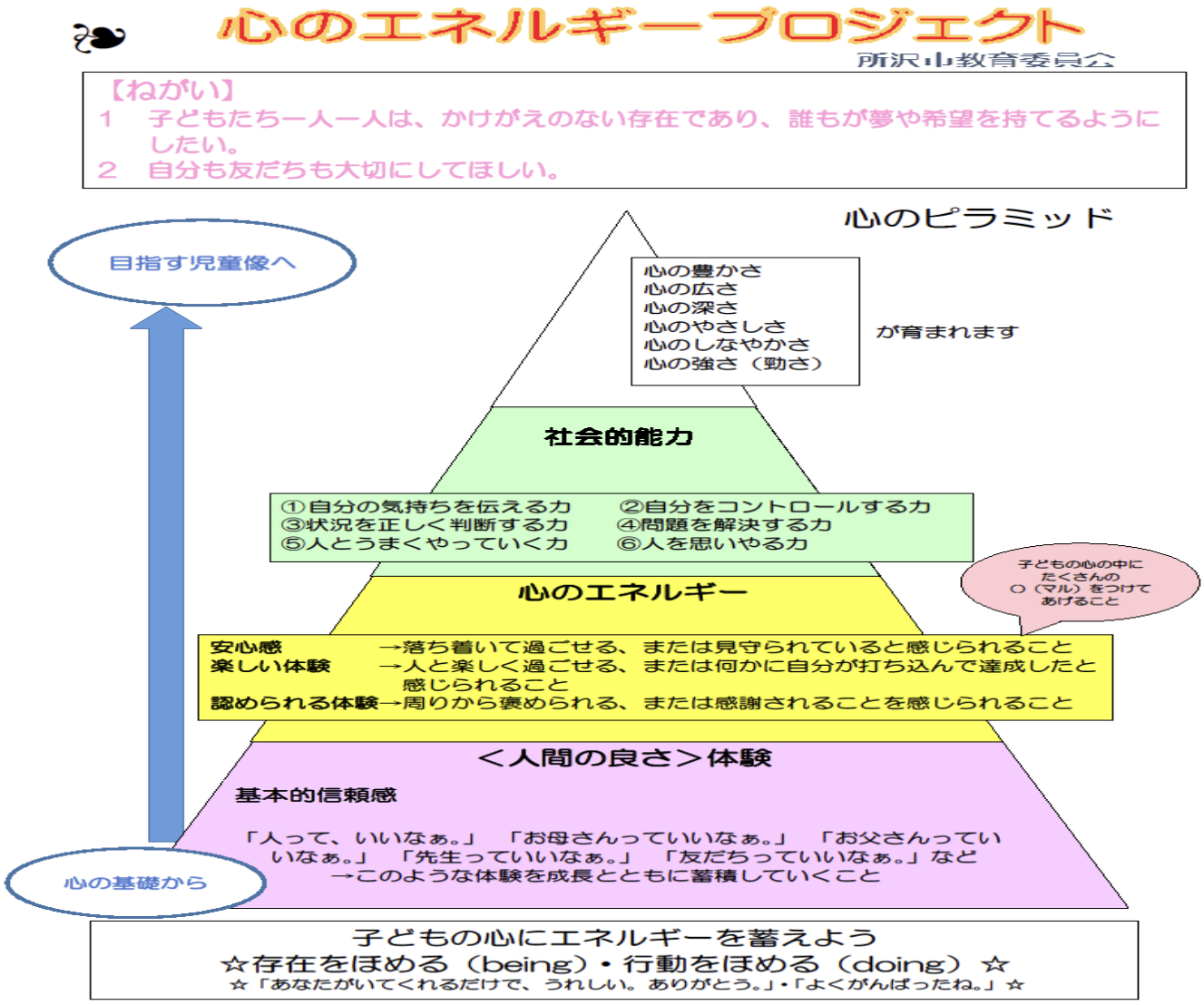
ある地方では、**物やお金で相手の働きに対して恩を返すのではなく、ちがった働きによって恩を返すことを「手間返し」**というのだそうです。ですから、その時の私の行動は、**私にとって「手間返し」**なのです。まして教え子のことですから、当たり前です。夏休みは、日頃、会えない方に遭える機会もあると思うので、是非、皆さんがこの夏休みに**「手間返し」の機会**を見つけ、いつでもできると思わず、そのチャンスを大切にして試してください。

さて、そのチャンスですが様々な考え方があり、見つけ方や取り組み方が変わってきます。その相談に来た卒業生が手土産を持参してくれました、その中の老舗の店の解説の中に「座右の銘」というのがあり、その商品部の方の考え方が書いてありました。「座右の銘」とは、格言：深い経験を踏まえ、簡潔に表現した戒めの言葉とあります。その商品部の方の座右の銘は**「無理はするもの、でも無茶はしない」**でした。**「無理は、自らの知恵を絞って、自分の意志で未来を開こうとする、自分から他にはたらきかける能動的な行為。無茶は、自らは、何も考えないで、単に結果を運に任せているだけの受動的（受け身）な行為。仕事をする上で１００％の力を出すのは、当たり前、成長するには、たとえ１％でも無理をして１００％以上の力を出さなければ成長できない。無理と無茶をはき違えてはいけない」**と書かれていました。

私自身は、根が怠け者で器用さに欠けるので、場面に応じて力を入れたり抜いたりするという加減がうまくできません。手を抜いたら、とことん手を抜きそうな自分がいるので怖いのですが、そんな私でも、新しい世界を観たいとか、新しいことを身に付けたいと、強く願いチャレンジするとき、今の自分の１００％以上を出さないとそれは、身につかないという実感も確かに経験か

ら理解できます。人には、いろいろな考え方があっていいと思いますが自分の考え方や、心に決めていることがあると、それを基準に生きていけますし、自分らしく生きられると思います。この長い夏休みは、「今までにない自分を発見したり育てたり」する、大変いい機会です。皆さん一人一人は、違っていても一人一人は、尊い存在であり、何ものにも代えられない存在であることの発見をしてください。その時、同時に自分らしく心から自分に期待する目標を持っていれば、皆困ったとき、立ち止まったとき自分を見失わず、ぶれずに自分の納得のいく生き方ができるようになると思います。皆さんに、新しい自分を見るチャンスをしっかりつかんで有意義な夏休みが送れることを期待しています。くれぐれも事故や事件に遭わないよう自らの判断をしっかりとすることをお伝えし、絶対に誰一人かけることなく二学期にお会いしましょう。

本日、このカードを配布しました。所沢市教育委員会の「心のエネルギープロジェクト」との一環として子どもの成長を理解するものとして作られたものです。生徒並びに保護者の方もご参考にしていただき、このことについて、ご家庭でお話しできればと考えております。

※下記のものは、本日、生徒に配布したカードを詳しくしたものです。

また、所沢市の教育センターHP には、「今あなたがいること」についての映像もありますので夏休みのひと時にご覧頂ければと思います。　健やかな夏休みをお過ごしください。